



日本共産党文京区議会議員
まんぢち幹夫 通信 **週刊**
 2011年12月23日号 No.223

'みなさんをいつもまんぢかに、'

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



どこまでも上に伸びる街は、環境はどうなる？

21日の文京区都市計画審議会に、「絶対高さ制限 第一次案」が提案されました。第一次案に対する区民意見、説明会での質問などに、「制限値が現状の建物状況よりも高いという指摘が多く出された」として、一定地域は「制限値を下げる」としました。千石や目白台の一部、また西片2丁目の東地域などは、22mから17mに変更

「絶対高さ制限」第二次案 区民の意見が、大事です！

東日本大震災、福島第一原発事故：これまで経験したことのない事態に直面した年でした。同時にこのことは、原発の「安全神話」や、住民を無視した「上からの復興」という日本の政治の大本が露呈される結果となりました。この問題

今年一年のご支援、ご協力に感謝申し上げます
防災と福祉、そして生きる権利が問われた年
ほんとうに住民が大切にされる区政をめざします



を通じて、これからの政治や自治体の役割が改めて問われています。防災・福祉を最優先し、地方自治をまもるため、来年もがんばります。今年一年のご支援、ご協力に感謝申し上げます。

神田上水の白堀 旧五中工事現場から出土

今度は、旧五中の解体工事現場（新福祉センターの建設）から、神田上水の白堀（上蓋のない用水路）が発見されました。20日に見学会があり参加。午前と午後との見学会への参加者は、605人！だそうです。関心の高さがわかります。

江戸期の飲用水などに使われた上水路は、まだまだ不明な点が多いとのことですが、軟弱な砂地に木製の胴木を敷きその上に石積みをして幅数メートルの上水を都心部まで引く技術と当時の労働力に、ただただ感心しました。



されました。しかし、意見があがっても変更なし、変更されても47m（白山通り、春日通り）や32m（千川通り）を、1mだけ下げるといふ超微調整。新たな「特例」の病院・大学施設も超高層が建てられる可能性があります。区民の意見が決定的に重要です。

- 15日** 自由法曹団、区内の労働組合のみなさんと夕方、後楽園駅頭で宣伝と無料法律相談。多くの方が関心を示し、ピラを受け取ります。
- 夜、根津ふれあい館での「行革」説明会。なんと私を含めて参加者は5人。お知らせがどうなっているのか。
- 17日** 午前、礪川小学校でもちつき大会。親子で田植え、稲刈りしたコマをつきます。なんとも愛着があることでしょう。夕方、宣伝。夜、養生会の望年会。
- 20日** 朝、旧五中遺跡の見学会。午後、地域の法律相談に。区民の財産権をまもる運動が始まりました。
- 21日** 午前、議員研修会。午後、議運と都市計画審議会に出席。

まんぢち日誌